

まちづくり懇談会内容【公開用】

日 時：令和 2 年 10 月 31 日（土）18：30～19：55

場 所：杵臼公民館

出席者：9 人

1. 開会

2. 町長挨拶

※配布資料確認および日程説明

3. これからのまちづくり（資料 1 参照）

- ・栗山赤十字病院の改築について

4. 懇談

5. その他（情報提供）

（1）光回線の全面開通について

（2）栗山高等学校と介護福祉学校の状況について

（3）新型コロナウイルス感染症対策について（資料 2 参照）

- ・町民の皆さんへ新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援一覧（資料 2－1 参照）

- ・事業者の皆さんへ新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援一覧（資料 2－2 参照）

- ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う国民健康保険税・介護保険料・後期高齢者医療保険料の減免について（資料 2－3 参照）

（4）空き家の情報提供について

6. 閉会

《懇談内容》

【栗山赤十字病院の改築について】

町長：診療科の要望で、他の会場で多く出ているのは、整形外科の午後診療。また、皮膚科、泌尿器科は週 1 日で出張医しか診療していない。この 2 診療科も常勤医師を配置してほしいという要望が出ている。

町民：病院の改築は、現状の病院をすべて解体して進めていくのか。それであれば、新築になるのではないかと。

町長：現在の病院の南側に建築して、駐車場側を解体する。西側の人工透析病棟がまだ新しいので、そちらの建物は活用していく。南側の看護師寮などが使われていないので、そちらを解体して、既存の建物を解体することになる。

町民：駐車場が広くなることはいいことだと思う。建設中は病院を一時閉鎖するのか。

町長：令和6年からの2年間で栗山赤十字病院の裏側に建設し、患者の移動を行い、既存の建物は解体する。

町民：栗山赤十字病院の裏には今も建物があるのか。

町長：正式な基本設計はこれからだが、建物はまだあると思う。いろいろなコンサルタントも入ってきて提案してもらっている。別の会場では、道路向かいの薬局を敷地内に入れられないかといった要望もある。

町民：薬局の駐車場も狭い。

町長：道路を渡って薬局へ行くのもどうなのかという意見もある。

町長：移転建て替えについても、いろいろな話があり、建て替え候補地として要望が出ているのは、栗山駅周辺や、栗山の地形上中間地点にあたる角田地区、富士の栗山由仁線の栗山町農産物検査場付近はどうかといった意見をいただいている。いろいろな意見を聞き検討していきたいが、現地での建て替えが有力ではないかと考えている。

町長：移転建て替えの場合、一番問題になっているのが、解体費6億円が借入金の対象にならないということ。国にも要望をしているが、なかなか難しい。

町民：今の場所の地盤はどうなのか。

町長：これから調査も入るが、問題はないと思う。実際に建て替え工事を行うことになれば調査を行うと思う。

町長：療養病床が40床あるが、病床数を100床に減らしたとしても、療養病床は40床を維持してほしいという要望が出ている。今は病院と介護施設との連携をして地域包括ケアの仕組みをしっかりと構築していきたいと考えている。

《質疑応答》

【その他（情報提供）】

町民：診療科目で、現状として週に1日しかない診療科があるが、利用者からすると非常に使いづらい。週1日しかないのは通うにしても病院の意味がないと思う。

町長：12の診療科目でスタートするが、病院経営のことを考えると、他の町と連携をして診療科がなくなっても交通手段を整備して、受診できる体制を考えていきたい。週1日しかない診療科で、別な曜日で具合が悪くなった場合はどうするかなど、いろいろな意見もある。週1日の診療は出張医が来て診察すると思う。私も泌尿器科に通院していたが、週1回しか診察できないので、診療日以外で結石が詰まり、岩見沢の病院まで行った経験がある。そういう部分でも週1回の診察についていろいろな意見を聞きながら検討していきたい。

町長：栗山赤十字病院のコロナ検査のことで情報提供がある。

日赤改築室長：11月9日から、建物右手にプレハブを設置し、発熱外来を開設した。午前中に電話で予約をし、午後からの診察となる。PCR検査自体はできないが、検体を採取して、検査に出すことができる。2日から5日くらいで検査結果が分かる。また、唾液採取して抗体を調べる抗原検査も行える。1時間くらいで検査結果が出る。発熱などの症状があつて、医師の判断で検査を受ける場合は国が費用を負担する。自分で検査をする場合は、自己負担になるのでPCR検査で2万円、抗原検査は7500円かかる。65歳以上の人が検査をする場合の補助制度を検討している。

町長：抗原検査は、過去に感染したかを調べることができる。結果のプライバシーは守られると

思う。65 歳以上は無料になるので、ご心配なく検査できる。

町長：夕張や近隣の町で感染者が出て、検査体制が整えば当然感染者数は増えてくる。もし、町で感染者が出たとしても、大丈夫ということを進めていくべきだと思う。

町民：栗山高校は普通科だが、特色のある科を作らないと生徒は集まらないのではないかな。

教育長：今は普通科で運用している。ただ、普通科に本来いない商業科の先生にも来てもらっている。地域の課題についていろいろ研究する学科を作ってはどうかという提案をもらうなど、さまざまな意見をいただいている。農業の勉強ができる学科や小林酒造などバイオテクノロジーの学科、スーパーコンピュータの「京」を開発した人は栗山と関わりのある人でもあるので、そういった人と繋がるような学科などができないかといったさまざまな意見が出ている。

町民：私の時は、栗山高校に家政科があった。普通科だけではなかなか生徒も集まらないと思う。

町長：今の子どもたちは、いろいろなものにふれる機会が増えている。いろいろなものを経験できる学校にしていけることはどうかといった意見もある。昔は、将来を決めてしまうような学科を作るのはどうかという考えを持った専門家もいたが、今はそういうことも考えていかなければならない。今回、女子硬式野球部の視察で島根県などに職員を派遣させた。その学校は、特殊な学科を持つ学校でもあった。栗山高校の将来像をそういったところなどを参考にして考えていきたい。

町長：南空知の高校が岩見沢だけになってしまわないようにしていきたい。

町民：PCR 検査の 2 万円というのは、保険以外でかかる費用のことか。

日赤：濃厚接触者や、症状がある人は保険が適用になり、費用はかからない。

町民：何も症状がなければ、2 万円の自己負担になるということか。

町長：検査で行く場合は、そのようなことになる。

19：55 終了